

## ⑨ WINDOWS 10 HOME をインストール



### Windows 10 の 3 種類の販売経路

パッケージ版	店頭やネットショップで購入できる Windows 10 OS
OEM 版	(主に) メーカー製 PC にインストール済みな Windows 10 OS
DSP 版	PC パーツと同時に購入する Windows 10 OS

※1 : OEM 版は、Windows10 がインストール済みな PC のリカバリ (=諸事情によりアンインストールしたものを再インストール) 用。元々付属している PC にしかインストールできない

※2 : DSP 版は、購入した PC パーツを載せた PC でのみ動作する。

メーカー製の PC (デスクトップ、ノート共) に「リカバリディスク」等として Windows OS ディスクがついてきた時は、OEM (メーカー製の特定端末と紐ついている) 版。「Office インストール済み / Office 付き」の PC ならば、Office も OEM 版です。DSP 版は、特定の PC パーツと紐ついている Windows です。紐ついている (=同時購入した) パーツをつないだ自作 PC でのみライセンスを受けられます。

すべてのパーツをつなぎ終えたら、早く Windows OS をインストールしたいところですが、Windows をインストール前にマザーボードに付属のドライバディスクを入れて UEFI (=OS を起動させるためのプログラム。) を起動させてみるとよいです。Windows インストール後なら、ロック画面が立ち上がる前に F2 キーや [Delete] キーを長押ししても表示させることができます。

UEFI には、マザーボードの型番、搭載 CPU の種類、メインメモリ容量、CPU の温度、マザーボードの温度・・・などが表示されるので、性能テスト (「ベンチマークテスト」と呼ばれる) にも使われます。



一旦 OS をインストールしてしまうと、この画面はなかなか見られません。システムディスク（ここでは、OS をインストールする場所）の処理速度が速ければ早いほど、「ようこそ」画面に至るまでの途中経過は画面に映りません。



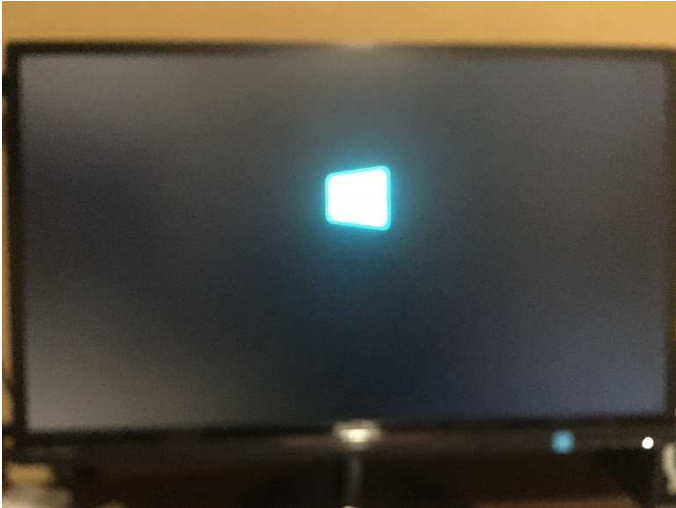
いよいよ Windows 10 OS をインストールだ！

自作 PC の場合は、Windows OS は、パッケージ版または DSP 版で入手します。パッケージ版は割高ですが、部品がすべて入れ替わっても、旧端末からアンインストールされてさえいれば、再度安全にインストールできます。DSP 版は、自作キット部品のいずれかとセット売りになっていて、購入時にセット売りされていた部品を使用しているという条件付きで安全にインストールができます。（購入時にセットされていた部品が使われていない端末ではライセンス認証が失敗する）。参考文献（→【Windows 10】認証についてのまとめ from PC 自由帳

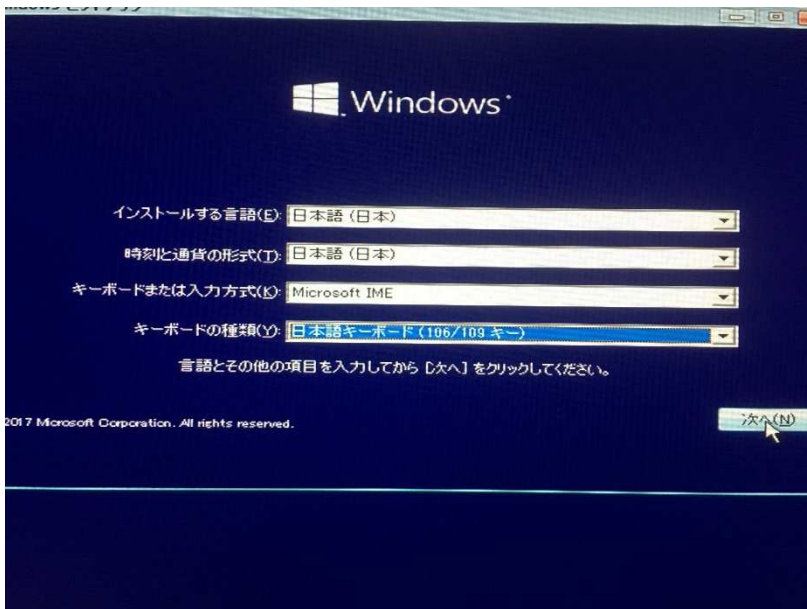
<http://www.pcfreebook.com/article/453124715.html>)



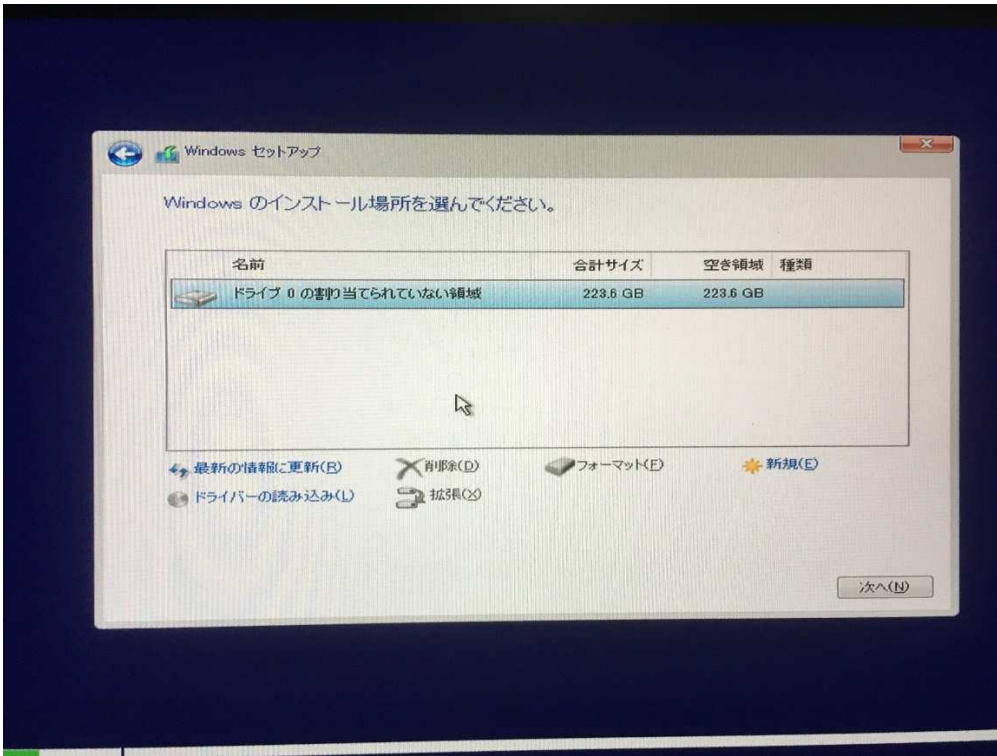
## DSP 版 Windows 10 Home のディスク



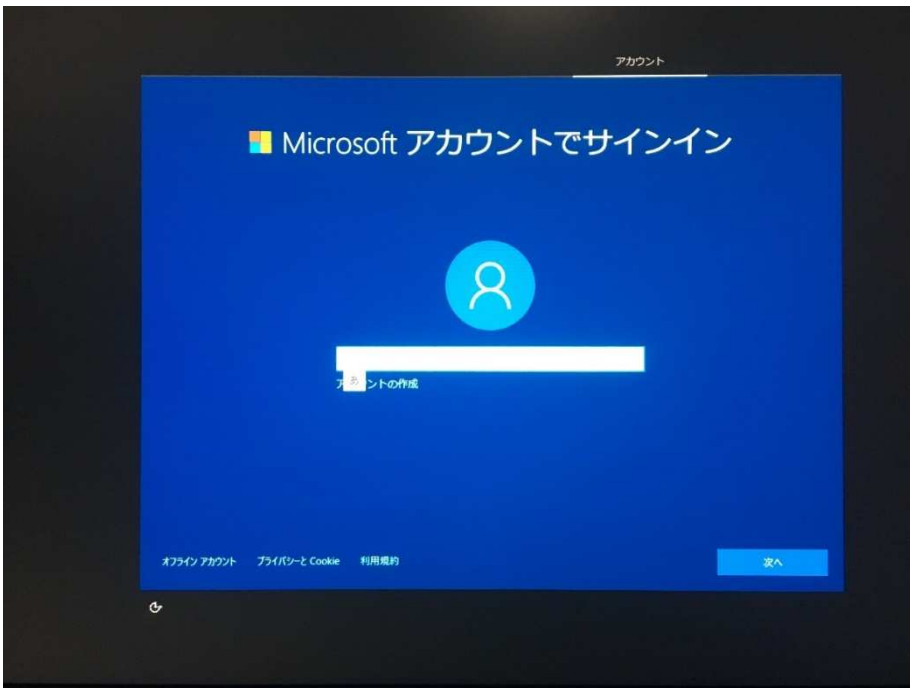
ようこそ画面の手前。



インストール開始前に、いろいろと入力する画面になります。



これは、インストール場所を選ぶ画面。OS をインストールする場所（ドライブ）は「システムディスク」と呼ばれます。この点は Windows 以外の OS でも同じです。たくさんデータを保存できるようにディスクドライブを複数取り付けたい場合は、OS を入れないつもりでのディスクドライブは後から取り付けることもできます。

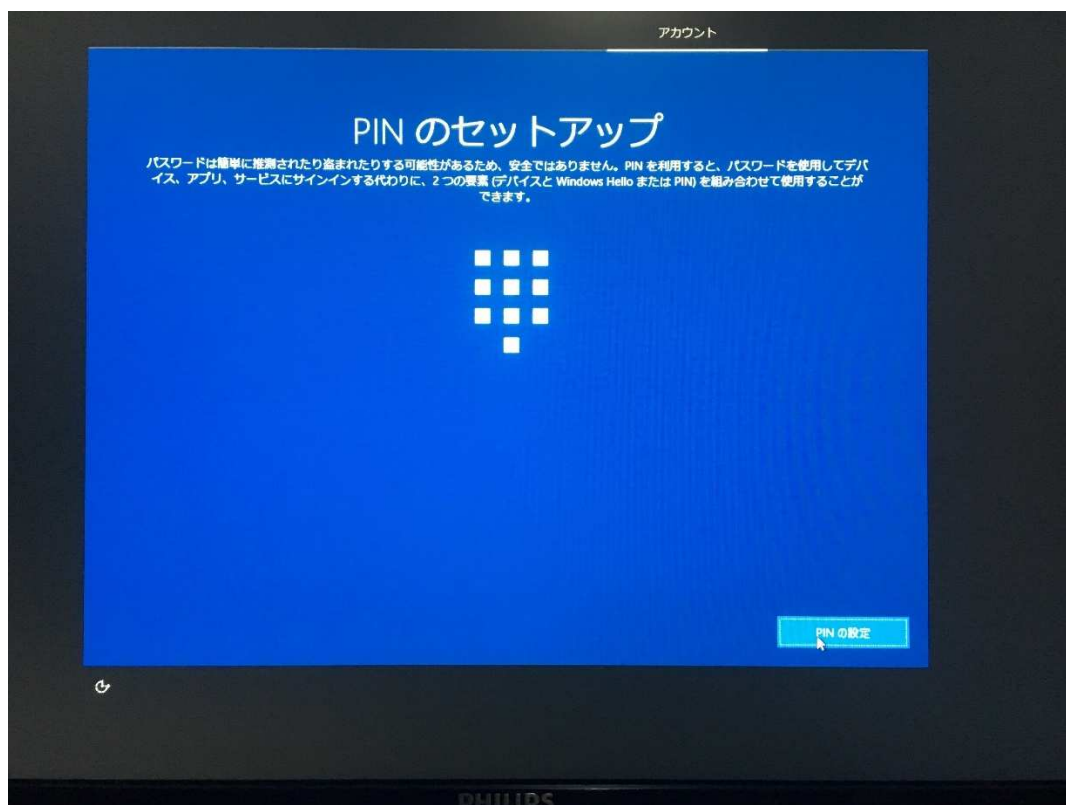


Microsoft アカウント・・・これは Windows 8 から「Windows を使いたいなら必ず Microsoft に個人情報の届け出をする」が義務化されたために出る画面です。

Microsoft 製の無料メールアドレスは、2015年の時点では、日本だと@の右側が outlook.jp または outlook.com です。Microsoft 製無料メールアドレスを作らなくても、すでに使用中の別のメールアドレス（Google や Yahoo 等のフリーメール含む）を Microsoft に届け出てアカウントを作ることができます。

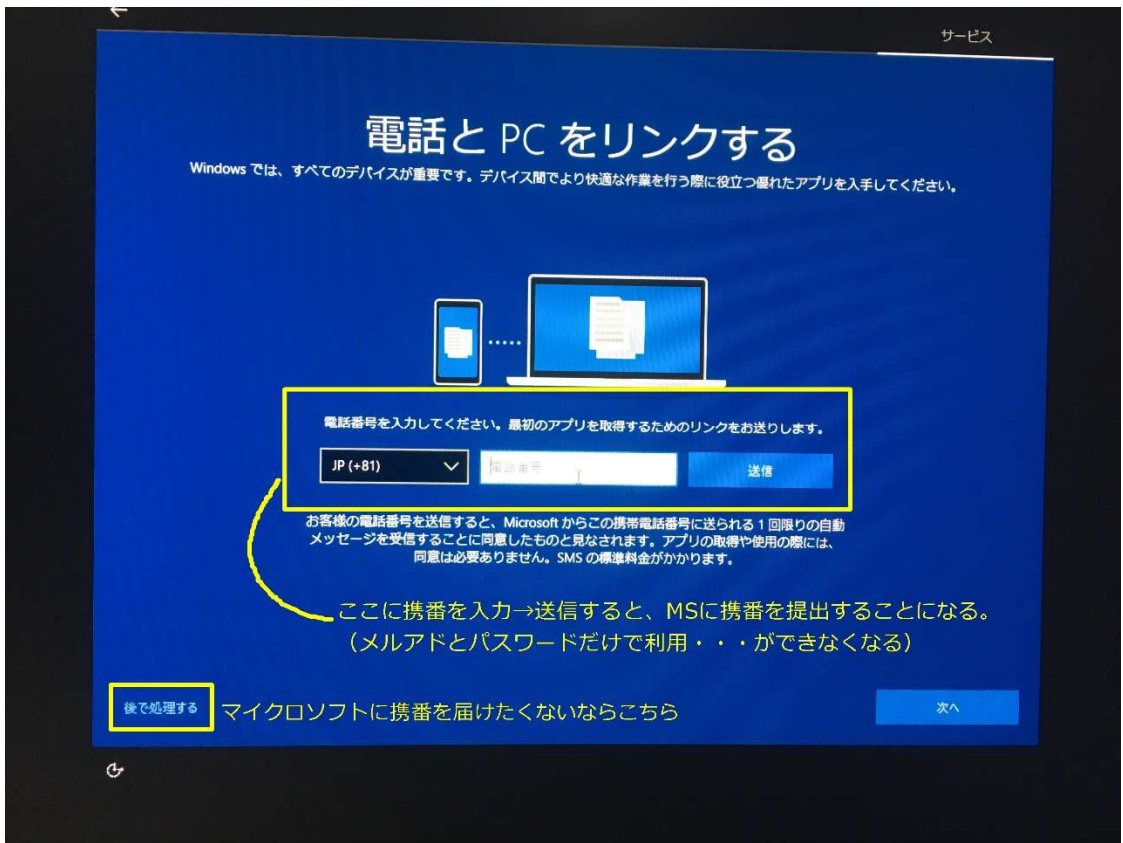
Microsoft アカウントをすでに持っている場合は使用中のアカウント（=メールアドレスとパスワード）でログインします。Microsoft に個人情報を届出したことがない場合は、アカウントを新規作成します。

（注）2016年時点で、WINDOWS、OFFICE、ONEDRIVE、SKYPE などはセット利用でなくどれか単体利用でも MICROSOFT アカウントが自動的に作られてしまいます。極端な話、PC を全く持っていないくて、スマートフォンに SKYPE アプリをインストールして利用登録しただけでも、スマートフォン用の SKYPE のためだけに MICROSOFT アカウントが作られます。



Microsoft アカウントのメールアドレスを入力して「次へ」をクリックすると、上のような画面に切り替わります。ここでいう「PIN」とは、Windows 7までのOSの「パスワード」に当たるものです。Windows 10をインストールしたPCでWindows 10を使い始めるための、特定のPC専用のパスワードです。「PINの設定」をクリックして好きなものを入力します。（セキュリティは低下しますが、あえてパスワード無しでWindowsを始められるようにしたい場合は別の設定を要します。

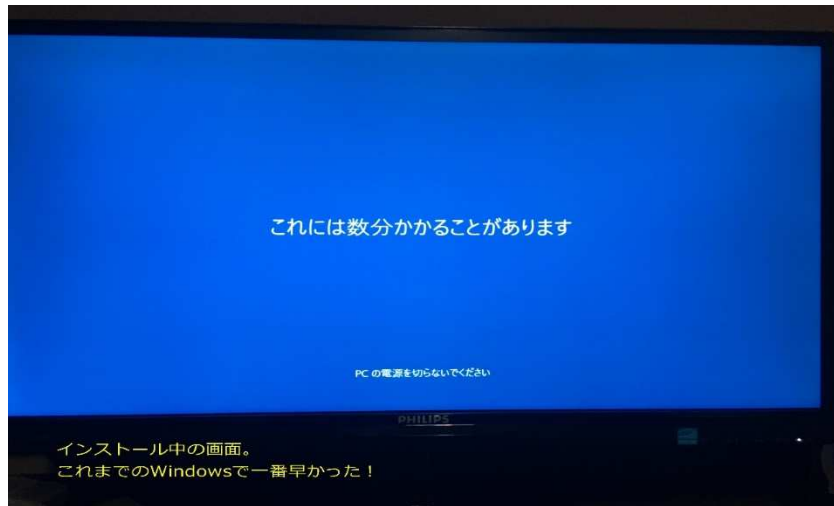
「Windows 10 で起動時のパスワード入力を省略する方法」 from NEC LAVIE 公式サイト <https://121ware.com/qasearch/1007/app/servlet/qadoc?QID=017735>



PIN 設定をした後は、この画面。ここで画面の指示通りに携番を入力すると、Microsoft に携帯番号を届けた (=Microsoft アカウントへのサインイン情報として携帯番号を登録) ことになる。Microsoft アカウント情報に携帯番号を絶対に使いたくない場合は、「後で処理する」をクリックします。

※ (携帯) 電話と PC をリンクさせるかどうかは、「自分は携帯番号とメールアドレスとでは、変更する頻度がより低いのはどちらか？」を考えて、携帯番号を送信するか、後で処理するかを決めるとよいかと思います。

「次へ」をクリックすると、インストールが始まります。



「これには数分かかることがあります」の文字が消えたら、Windows 10 OS のインストールが完了です。この後に、セキュリティソフト、使いたいアプリ各種を追加でインストールしていきます。OS 以外は旧 PC の中身をそのまま使いたい場合は、OS 以外のバックアップデータを移植（＝コピー）することもできます。

Windows 10 OS をしばらく使い込んでいくと、各種ファイルは C ドライブ（C:）の「ユーザー」フォルダ（Microsoft アカウント名を用いたフォルダ）に保存されます。もし C ドライブと違う場所に保存したい場合は、もう 1 基内臓ディスクドライブを用意して、NTFS 方式で初期化して、ケース内につなぎます。



## 自作デスクトップ（最小構成）、完成～～

めでたし、めでたし